



## 令和6年度 学校評価に関するアンケート結果について

大寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に対しまして、あたたかいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、12月に実施いたしました「学校評価に関するアンケート(保護者・児童)」の集計結果をお知らせいたします。年末のお忙しい中、ご協力くださいましてありがとうございました。

昨年度と比較して改善されたもの、改善できなかった課題等の要因を分析し、次年度の学校経営方針を見直し、児童のよりよい学校生活に帰結できるようにしたいと考えております。今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 学校評価結果より(児童アンケート結果も含めた考察)

#### 1 結果の概要

##### 【保護者アンケート】

肯定的な回答(「よくあてはまる」「ややあてはまる」の回答)が90%を超えているものが28項目中13項目、80%未満のものが8項目でした。一番伸びが大きかった項目は、「19 子どもと防災のことについて家で話し合っている」75.5%(+8.9%)であり、命を守る意識が高まり、備えや行動につながっていることが伺えます。低い項目9・15・25においては、さらにポイント数が下がる結果となり、夢や目標に向かって前向きな生活ができるよう、教育活動のなかで自己肯定感の醸成をめざし、最後までやりぬく意識と力を育てて参りたいと思います。

##### ○肯定的な回答が高かった主な項目

※( )は、昨年度との比較

8 子どもがよいことをしたときは、積極的に褒めている	98.0%(+0.7%)
18 子どもが、交通ルールを守るよう、働きかけている	98.0%(+4.3%)
14 子どもは、人のことを大切にして、友達と仲良くしている	97.1%(+1.6%)
2 「わかる授業」のための授業研究と授業改善に取り組んでいる	96.1%(+6.0%)

##### ○肯定的な回答が低かった主な項目

15 子どもと社会や将来のことを話し合っている	57.9%(-0.6%)
25 子どもは目標をもって生活している	61.9%(-1.1%)
9 子どもは何事にも粘り強く取り組む	64.7%(-1.0%)

##### 【児童アンケート】

肯定的な回答が90%を超えているものが30項目中15項目、80%未満のものが5項目でした。下記より学習・人権・防災への意識が高いことを嬉しく思います。一番伸びが大きかった項目は、「7 グループで調べたり、話し合ったりする学習が好きである」90.3%(+10.8%)であり、授業での「協働的な学び」の場が充実していたことが伺えます。読み聞かせや読書の機会を増やしたり、新聞を活用した学習を推進したりして、読解力が高まるよう努力して参ります。

##### ○肯定的な回答が高かった主な項目

1 先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる	99.1%(+3.2%)
23 いじめなどは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.3%(-0.3%)
6 宿題をきちんとしている。	96.5%(+4.7%)
22 避難訓練などは、真剣に取り組んでいる	96.5%(-0.2%)

##### ○肯定的な回答が低かった主な項目

27 子ども新聞や本をふだんから読んでいる	57.1%(-6.8%)
18 地域の行事などに参加している	69.3%(-4.4%)
3 テストでは、思い通りの点数が取れている	79.0%(+7.7%)
26 ゲームなどは、家の人とのルールを守り、長い時間しない	79.0%(-2.1%)

## 2 学校経営基本方針とのつながりについて

### (1) 人権尊重の精神と豊かな心の育成

※( )は、昨年度との比較

#### ○楽しい学校づくりについて

児童 20「学校へ行くのが楽しい」 87.7% (+7.4%)

保護者17「子どもは、楽しんで学校に行っている」 91.2% (+3.8%)

前年度の本項目(児童 80.3%)が低かったため、学校スローガンを、「みんなの瞳がキラキラと輝く楽しい学校」と改定して取り組んできました。今年度は、児童・保護者ともに肯定的な回答が増加しており、みんなが楽しい学校に近づきつつあります。次年度は、さらに高まっていくように、児童一人一人の思いや保護者の皆様の願いに寄り添った支援を進めていけるよう、教職員の協働をベースに100%をめざして取り組んで参ります。

#### ○自己肯定感について

児童 9「自分にはよいところがある」 83.4% (+1.4%)

28「めあてや目標をもっている」 86.0% (+2.4%)

肯定的な回答は、昨年度よりやや伸びています。「自分のよさ」の認識には、自分自身の「成功体験」による「できた」という思い、他者からの「ほめことば」による喜びや嬉しさが自信につながり、「感謝のことば」による誰かの役に立ったという思い等、様々な要素があります。児童一人一人への言葉かけを大切に、継続的に取り組むことで、「自分のよさ」の認識を高めて参りたいと思います。

保護者 8「子どもがよいことをした時は、積極的に褒めている」 98.0% (+0.7%)

10「子どもが粘り強く取り組めるよう家庭でも応援している」 91.1% (-0.8%)

上記回答より、ご家庭でお子さんを褒めたり励ましたりする思いや言動が定着していることがわかります。自己肯定感の醸成に向けて、学校からもお子さん一人一人の良さの情報発信を心がけ、家庭との双方向から称賛をベースとした働きかけを進められるよう、取り組んで参ります。

#### ○いじめ問題・生徒指導・相談体制について

児童 19「先生は、困ったり、悩んだりしたときに、相談にのってくれる」 94.8% (+2.2%)

保護者20「学校は、いじめや生徒指導の問題について、素早く対応してくれる」 90.2% (+6.4%)

児童・保護者ともに肯定的な回答が増加しました。いじめをはじめとする生徒指導上の問題解消には初期対応が重要であるため、昨年の結果をもとにきめ細やかな家庭への連絡等に取り組んで参りました。今後とも、児童相互、児童と教員、家庭と教員のコミュニケーションを軸にした豊かな人間関係づくりに留意し、保護者の皆様が安心・安全な学校づくりに向けて、さらなる改善に努めて参ります。

### (2) 確かな学力と体力の定着

#### ○確かな学力の定着について

児童 1「先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれる」 99.1% (+3.2%)

2「漢字や計算の力がついてきている」 91.2% (+6.8%)

3「テストでは、思い通りの点数が取れている」 79.0% (+7.7%)

5「授業中、人の話を集中して聞いている」 92.1% (+5.2%)

保護者2「学校は、わかる授業のための授業研究や授業改善に取り組んでいる」 96.1% (+6.0%)

3「学校は、基礎的な学力定着に熱心に取り組んでいる」 95.1% (+8.6%)

5「学校は、子どもの学習規律の定着に取り組み、効果を上げている」 91.2% (+2.0%)

6「子どもは、家庭学習(宿題)をきちんとしている」 89.2% (-2.6%)

児童の確かな学力の定着にかかわる設問では、全ての項目で「わかる授業」の評価が高まっており、児童自身が学力の向上を実感しつつあります。自信がもてれば最後まで「やりぬく力」も自然とついてくるため、賞賛と励ましを続けていきたいと考えています。

保護者の皆様からの肯定的な回答も前年度をほぼ上回り、一定の評価をいただいておりますが、家庭学習の項目が減少しており、家庭学習の進め方について、課題の出し方等を含め、「個別最適な学び」の推進に努めて参ります。次年度も児童の学力向上と定着に向けて、授業のなかでタブレットを効果的に活用し、「よくわかり、確かな力のつく」授業づくりに向けて取り組んで参ります。

## ○体力づくりについて

児童 4「進んで運動し、体力づくりをしている」 84.2%(-7.6%)

保護者4「学校は、子どもの体力づくりに取り組み効果を上げている」 77.5%(-5.4%)

業間・昼休みの外遊びの様子を観察すると、常時運動している児童と教室にいる児童の二極化が見られており、その結果が表れています。上学年では、体操・水泳・陸上等の放課後練習など、自ら体力を向上させる機会がありますが、希望者のみの参加で全員の意識向上に結び付いていない現状があります。今後、スポーツ集会や全校体育等を企画して、児童の運動機会を増やし、意識と体力を高めていきたいと考えています。

児童 14「朝は、決まった時間に起きている」 82.5%(-1.1%)

保護者23「私(保護者)は、早寝・早起き・朝ご飯が習慣づくようにしている」 93.1%(+3.0%)

ご家庭でのお子さんへの生活リズムづくりへの意識や働きかけは、定着傾向にあります。体力や学力の向上において、睡眠は健全な成長と心理的な安定のために欠かせません。朝ご飯は、体温を上げて体と脳を活性化させるために重要です。今後は、毎月の「ほけんだより」や保健給食委員会の集会活動を通して、生活リズムづくりのさらなる意識向上を図って参りますので、ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

## (3) 命を守る教育の充実

児童 22「避難訓練などは、真剣に取り組んでいる」 96.5%(-0.2%)

保護者19「子どもと防災のことについて、家で話し合っている」 75.5%(+8.9%)

児童の肯定的な意見は、ほぼ変化なしです。校内での様々な避難訓練でも真剣に取り組む姿が見られています。保護者の皆様の肯定的意見が増えた要因として、能登半島の地震や南海トラフ地震臨時情報の発表等による身近な自分事としての認識を持たれたことが想定されます。次年度は、「里浦町津波避難訓練」や「防災学習の授業参観」等、保護者の皆様も参加していただける学習や訓練を実施していきたいと思っております。自然災害に対して「自分の命は自分で守る」意識と安全な行動がとれるよう、学校・家庭・地域の連携を軸に取り組んで参りたいと思っております。

## (4) 地域への愛着と誇りを育む活動の充実

児童 29「里浦町が好きだ」 93.9%(+2.5%)

18「地域の行事などに参加している」 69.3%(-4.4%)

保護者26「学校は、里浦ならではの人材や施設、環境をいかした特色ある教育活動を行っている」 95.1%(-1.3%)

今年度も、昨年より復活した地域行事(公民館祭、廻り踊り、囲碁ボール大会等)のほか、JA里むすめフェスのようなイベントが継続されましたが、参加者が限定された傾向が見られます。里浦町の自然や産業を学んだり、体験したりする機会は学校での学習に位置付けているため、児童の郷土愛は高まってきています。今後とも地域の産業・伝統文化・防災・自然等に触れる機会や学習を充実させ、郷土愛をさらに高めていけるよう取り組んで参ります。

※ 今回の学校評価アンケートでいただいた貴重なご意見をもとに、今後とも努力して参りたいと思っております。

なお、学校評価アンケート(児童・保護者)の全項目データについては、里浦小学校ホームページに公開しておりますのでご覧ください。



ホームページ QR コード